



広報 常陸大宮



2018
3
No.162

バルーンアートを楽しむ親子
(関連記事 P10)

主な内容
P2～3 市名誉市民故矢数浩様市葬
P4～13 まちのできごと
P14 ヘルスバレーボール
P15 パラオコーナー最終回
P21 環境インフォメーション

常陸大宮市名誉市民 故矢数



常陸大宮市名誉市民矢数浩前常陸大宮市長の逝去に伴い、生前の自治功勞に敬意を表し、市文化センター大ホールで市葬を執り行いました。当日は、市内外から約 500 人の参列者があり、矢数前常陸大宮市長のご冥福をお祈りしました。

矢数氏は、昭和 46 年 9 月地域住民から推され、大宮町議會議員に當選以来、昭和 63 年 3 月まで在職。その間、大宮町議會議長及び議會議副議長等の要職を歴任し、議会の重鎮として円滑な議會運営に尽力されました。

また、昭和 63 年 4 月、地域の衆望を担って大宮町長に當選以来、4 期連続無投票の榮に浴し、豊かな自然環境と歴史的遺産を大切にしながら、住民の期待と信頼に応えるため町政發展に全力を傾注し、多大な功績を残されました。

さらに、平成 16 年 10 月には献身的な努力をもって那珂郡大宮町、山方町、美和村、緒川村及び東茨城郡御前山村という県内最大数の 5 町村合併を実現させ、初代常陸大宮市長に就任。温厚で、常に対話を基本とした行政運営により、高齢化、高度情報化など社会経済情勢の

変化や住民ニーズの多様化などに対応し、県北西部の中核都市として住民の期待と信頼に応えるため、魅力ある豊かなまちづくりに卓越した識見と情熱を傾注されました。

学歴	昭和 8 年 3 月 14 日生	
	昭和 31 年 3 月	茨城大学文理学部卒業
公選職歴	昭和 46 年 9 月～昭和 63 年 3 月	大宮町議會議員
	昭和 54 年 9 月～昭和 57 年 9 月	大宮町議會議副議長
	昭和 62 年 9 月～昭和 62 年 12 月	大宮町議會議長
	昭和 63 年 4 月～平成 16 年 10 月	大宮町長
その他の略歴	平成 16 年 10 月～平成 20 年 4 月	常陸大宮市長
	昭和 63 年 6 月～平成 20 年 4 月	社会福祉法人常陸大宮市（大宮町含）社会福祉協議会会長
	平成 4 年 3 月～平成 20 年 5 月	財団法人常陸大宮市（大宮町含）勤労者等福祉事業団理事長
	平成 7 年 2 月～平成 20 年 5 月	財団法人常陸大宮市（大宮町含）農業公社理事長
	平成 10 年 8 月～平成 20 年 4 月	茨城県農業改良普及事業推進協議会会長
	平成 19 年 3 月～平成 20 年 4 月	社団法人茨城県治山林道協会会長
受賞等の記録	平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月	関東甲信地区林道協会連絡協議会理事長
	昭和 62 年 2 月	全国町村議會議長会会長表彰
	昭和 62 年 6 月	茨城県町村議會議長会会長表彰
	平成 9 年 1 月	全国町村会会長表彰
	平成 19 年 11 月	地方自治法施行 60 周年記念総務大臣表彰
	平成 22 年 11 月	平成 22 年秋の叙勲 旭日小綬章受章
	平成 30 年 1 月	常陸大宮市名誉市民に選定
	平成 30 年 2 月	叙位
	平成 30 年 1 月 4 日	逝去（84 歳）



▲追悼の詞を奉読する三次市長



▲遺族代表謝辞を述べる矢数昌雄氏



▲会場の様子

葬市長市宮大陸常前浩

事 績

昭和 63 年	4 月	おおみやコミュニティセンター竣工
	11 月	宇留野坏橋開通（全長 327.9m）
平成元年	5 月	農業環境改善センター竣工
	11 月	第 1 回ふれあい広場町営グラウンドで開催
平成 2 年	8 月	公共下水道事業に着手
平成 3 年	3 月	大桂大橋開通（全長 747m）
	10 月	水戸北部中核工業団地分譲完了 35 社が操業
平成 4 年	10 月	初の雪村展開催
平成 5 年	4 月	西部総合公園ナイター施設竣工
	5 月	常陸大宮街づくり株式会社創立
平成 6 年	7 月	辰ノ口橋完成（広域農道）、親水公園展望台竣工
平成 7 年	7 月	大宮町文化教養施設竣工
	7 月	大宮町合併 40 周年記念式典
平成 8 年	5 月	辰ノ口親水公園竣工
	7 月	公営プールオープン
平成 9 年	8 月	宮の郷工業団地起工式
	10 月	西塩子の回り舞台復元
	12 月	常陸大宮ショッピングセンター「ピサーロ」オープン
平成 10 年	10 月	大宮運動公園竣工
	10 月	西塩子の回り舞台復活記念歌舞伎公演
平成 11 年	6 月	西部総合公園体育館竣工
平成 12 年	7 月	新役場庁舎竣工式、旧役場庁舎閉庁式
平成 14 年	3 月	総合保健福祉センター「かがやき」竣工
	8 月	全国高等学校総合体育大会開催（新体操）
平成 15 年	3 月	鷹巣ふるさとコミュニティセンター竣工
平成 16 年	10 月	常陸大宮市誕生（大宮町・山方町・美和村・緒川村・御前山村が合併） 県下 23 番目の市 人口：48,098 人 行政面積：348.38km ²
	12 月	常陸大宮市誕生記念ジョギング・ロードレース大会
平成 17 年	1 月	新年賀詞交歓会（西部総合公園体育館）約 500 人出席
	3 月	（仮称）県北西部地域中核病院起工式
	3 月	常陸大宮市の市章決定
	4 月	茨城大学人文学部と常陸大宮市が地域連携協定締結
	5 月	常陸大宮市と東京都豊島区が非常災害時相互応援協定締結
平成 18 年	7 月	常陸大宮済生会病院開院
	7 月	市内循環交通システム事業「市民バス」出発式
	8 月	「第 23 回国民文化祭・いばらき 2008」常陸大宮市実行委員会設立総会
	11 月	常陸大宮済生会病院新築落成式
平成 19 年	4 月	宮の郷工業団地県土地譲渡調印式
	10 月	常陸大宮市合併 3 周年記念式典 （市民憲章・花「ばら」木「さくら」鳥「かわせみ」の発表、宗次郎ミニライブ）
	11 月	第 20 回全国健康福祉祭いばらき大会ねんりんピック茨城 2007 なぎなた交流大会
平成 20 年	4 月	矢数 浩市長退任式

常陸大宮市告示第 2-2 号

常陸大宮市名誉市民条例に基づき、下記の者を常陸大宮市名誉市民に選定したので、同条例第 4 条第 2 項の規定により告示する。

平成 30 年 1 月 16 日

常陸大宮市長 三次 真一郎

1 住所 常陸大宮市栄町 1190 番地

2 氏名 矢数 浩

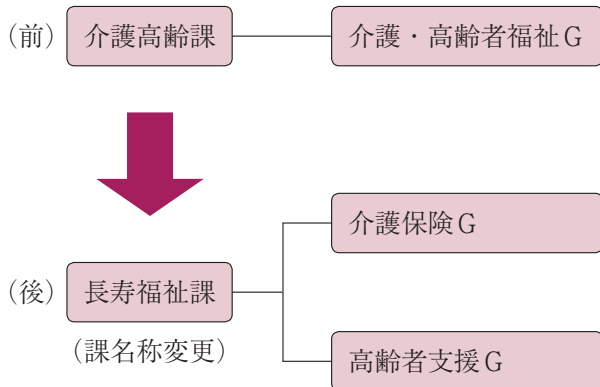
3 議会同意日 平成 30 年 1 月 16 日

4 選定年月日 平成 30 年 1 月 16 日

5 選定理由 初代常陸大宮市長として、本市発展のため顕著な功労を残されたため

行政組織機構の一部見直しについて

介護予防事業の一層の強化・充実を図るとともに、高齢者福祉に係る多様なニーズに的確に対応するため、今年4月1日から次のとおり保健福祉部介護高齢課の組織・名称を改めます。



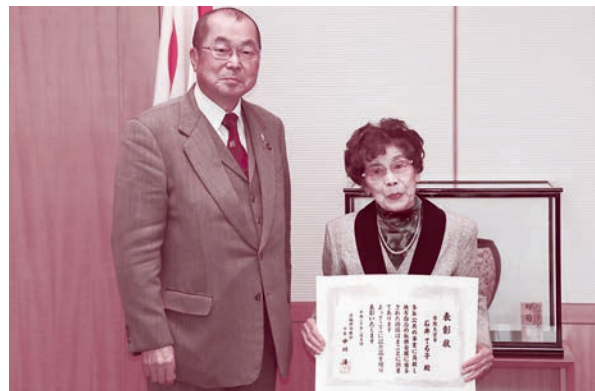
■問い合わせ■

総務課庶務・法制グループ ☎ 52-1111 (内線 318)

2/9

自治功労者表彰

市の発展に貢献された功績が顕著であった方々を称える、「県市長会民間自治功労者表彰式」が開催され、本市から石井てる子さん（家和楽）が受賞されました。石井さんは、市更生保護女性会会長を務められ、現在も顧問として活躍。市交通安全母の会連絡協議会会長としても長年にわたり交通安全事業の向上に多大な貢献をされました。現在も、様々な地域活動において活躍されています。



▲おめでとうございます

2/8

おやもりうた 親守詩全国大会で受賞

第5回親守詩全国大会の表彰式が東京で行われ、山方保育所さくら組の天津結菜さん（6歳）が連歌部門で佳作を受賞しました。

親守詩とは、子どもが親を思って作る詩で、作文・詩部門、定型詩部門、連歌部門があり、今回は、「親の絆・親への感謝」をテーマに全国から約9万点の応募がありました。受賞した連歌部門は、子どもが上の句（五・七・五）、親が下の句（七・七）をつくる形式です。

受賞作品

(子) 寝る前に お疲れパパの 肩もみもみ
 (親) 君の御褒美 ビールより効く



▲父の雅之さんと結菜さん

2/15

常陸大宮高校に寄贈

市内の株式会社ひたち農園が、常陸大宮高校にエアープラズマ切断機を寄贈しました。これは、筑波銀行の寄贈型私募債、地域の未来応援債を利用して寄贈されたものです。

株式会社ひたち農園には、常陸大宮高校の卒業生が多く在籍し活躍されているようで、その縁から常陸大宮高校への寄贈となりました。

常陸大宮高校機械科はこれまでも、小舟富士山頂などに眺望図や木製ベンチを製作し設置しました。これらの活動を県の工業高校課題研究発表会でも発表し、高い評価を受けたそうです。

今後も学科の特色を生かしながら、地域と連携し活躍されることが期待されます。



▲左から筑波銀行菅原支店長、ひたち農園木村課長 根本社長、常陸大宮高校坂本校長、生徒代表白土さん

2/15

健康づくり推進事業功労者表彰

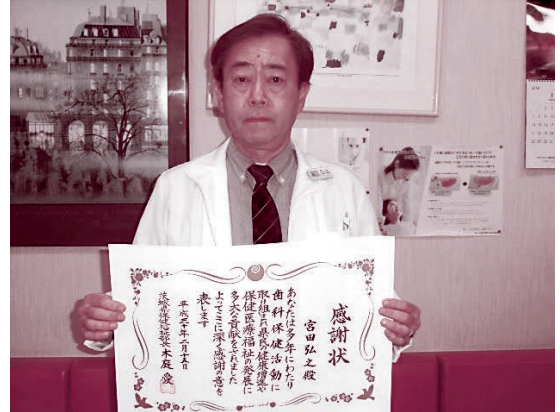
多年にわたる地域公衆衛生活動及び歯科保健活動の功績が認められ、県知事及び保健福祉部長から感謝状が贈られました。

知事賞



鈴木 邦彦先生 (公衆衛生活動)

保健福祉部長賞



宮田 弘之先生 (歯科保健活動)

知事賞



河井 俊美先生 (歯科保健活動)

保健福祉部長賞



高橋 健先生 (歯科保健活動)

2/15

献血功労者表彰 (団体の部)

多年にわたり継続して献血事業に貢献したことが認められ、県知事及び日本赤十字社茨城県支部長から感謝状が贈られました。



大川精螺工業労働組合



イオン常陸大宮店

1/28

茨城大学地域史シンポジウム

茨城大学で第13回茨城大学人文社会科学部地域史シンポジウム「異説？新説！佐竹一族」が開催され、佐竹氏研究を代表する6人の講師による研究報告が行われました。本市に関わる部分では、高橋修氏（茨城大学教授）が金砂合戦を契機とした佐竹氏の抵抗戦を「常陸奥郡十年戦争」として把握すべきという論説を提示したほか、山縣創明氏（水戸第一高等学校教諭）は、部垂の乱を佐竹氏が戦国大名化する画期となった戦いであると評価しました。



▲報告をする高橋氏



▲パネルディスカッションの様子

1/31

災害時の協定を締結しました

大子町の茨城県立大子特別支援学校と障がい者等の避難所として、災害時における福祉難所等の施設運営に関する協定を締結しました。

この協定は、大規模災害時に、一般の避難所では生活に支障があり、特別な配慮を必要とする障がい者とその家族が安心して避難生活を送ることができる避難先として協定を締結するものです。

また、大宮警察署と災害時における施設使用に関する協定を締結しました。

この協定は、大規模災害時に大宮警察署の庁舎が被害を受け使用できなくなった場合、本市の人命救助、交通規制、防犯など治安維持が保てなくなる可能性があり、災害対応業務にも大きな悪影響を与えます。このようなことから、大宮警察署の庁舎が被災した場合、本市の施設の一部を大宮警察署の代替施設として使用し、警察機能を保持することを目的として協定を締結しました。



▲協定書を交わす三次市長と永井校長



▲三次市長と菊池大宮警察署長

市民の方からまちのできごと

2/3

感謝の気持ちでゴミ拾い

常陸大宮リトルリーグ（会長：菊池勝雄）では、鷹巣多目的グラウンド周辺のごみ拾いを行いました。

常陸大宮リトルリーグは、毎週土曜日と日曜日に鷹巣多目的グラウンドで練習をしており、施設への感謝の気持ちを込めて実施したものです。

当日は、子どもたちだけでなく、保護者も参加し、空き缶やペットボトル、ごみの回収を行いました。今後も月1回程度、定期的に行う予定です。新入団員の募集もしていますので、野球大好きなお子さんの参加をお待ちしています。



▲綺麗になったグラウンドは気持ちいいね！

2/3

第5回いばらきっ子郷土検定県大会

茨城県にまつわる歴史や地理、産業などの知識を競い合う、第5回いばらきっ子郷土検定県大会が県民文化センターで開催され、各市町村代表44校と国県私立の代表1校の計45校が出場し熱戦が繰り広げられました。本市からは市の大会を勝ち抜いた御前山中学校の代表生徒5人が出場。熱気あふれる応援もあり、準決勝戦を制した3校による決勝戦に進出し、激戦の結果、見事第3位の成績を収めました。



▲前列左から神長さん、古室さん、石川さん
後列左から小野さん、大越さん

2/8

上野小児童社会科見学

市立上野小学校の3年生28人が、社会科見学の授業の一環で、市内の観光農園いちごBOX（下村田）を訪れ、いちごの栽培について学びました。

初めに、いちごの実が成るまでの苗の生育等について説明を受けた後、ハウス内を歩きながら、いちごの葉や実を観察しました。

児童からは、「美味しいいちごの見分け方」や「一番大変な作業は」など活発な質問があり、たくさんのお話を学んだようでした。



▲説明をする早川さん（左）と熱心に聞く児童たち

2月

移動市長室

市長が市民の皆さんと、まちづくりや市政について直接対話する「移動市長室」を、2月6・8・23日の3日間、市内6会場で開設し48人の参加がありました。

参加した市民の皆さんからは、道路整備、防災対策、子育て支援、少子高齢化問題等について、貴重な意見が出されました。



▲移動市長室の様子

2/15 教育振興大会

緒川総合センターで「平成 29 年度常陸大宮市教育振興大会」が開催されました。この大会は、本市の教育の振興・発展に寄与された個人や団体に感謝状などを贈り、郷土を愛する心を育む郷育立市をさらに推進することを目的としています。この日は、100 を超える団体・個人に表彰状と感謝状を贈呈しました。またアトラクションでは、上野小学校 2 年の根本あおいさんの朗読発表や、山方小学校 6 年の佐藤慶之介さんの作文発表などが披露され、たくさんの方の歓声と拍手があがっていました。



▲大会の様子

3月 民生委員児童委員が変更になりました

地区担当の民生委員児童委員に変更がありましたので、お知らせします。(敬称略)

担当者	担当地区
坂本 邦夫 ☎52-1750	大宮地区 (宇留野坏全域)
木村 順子 ☎57-9016	山方地区 (盛金(岡平・松沢口))
相田 悦夫 ☎56-2507	緒川地区 (上小瀬 (川西))

任期：平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 11 月 30 日



▲左から三次市長、坂本さん、木村さん、相田さん

2/20 伝統技術・技法を未来へ繋ぐ「茨城県伝統工芸士」

茨城県には、地域の風土と暮らしの中で育まれ受け継がれてきた伝統工芸品が数多くあります。(県伝統工芸品の指定数：41 品目)

これら伝統工芸品の技術、技法を次代に引き継いでいくため、その製造に長年従事され、優れた技術を持つ方を茨城県伝統工芸士として認定する制度を、今年度新たに創設しました。

茨城県伝統工芸士審査委員会(委員長：金子賢治陶芸美術館長)の意見を踏まえ、28 人の製造者を初の伝統工芸士として認定。



▲菊池 浩さん (五介和紙)

本市からは、2 人が茨城県伝統工芸士に認定され、認定書交付式が県庁で行われました。

認定されたのは、指定工芸品である「西ノ内和紙」の製造に従事している、菊池浩さん(五介和紙)と菊池大輔さん(紙のさと)です。

お二人は、紙漉き体験などを通じ、技術や技法など広く普及活動を行うとともに、市内小中学校の卒業証書の作成やメディア等への出演など、伝統工芸品に対する認識を広める活動を行っています。



▲菊池大輔さん (紙のさと)

12/21
2/9

教員委員会で事業等を点検・評価

市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行っています。

評価委員として、茨城大学人文社会科学部教授の西野由希子氏、元県職員の新家洋一氏・武藤賢治氏の3人に委嘱し、平成28年度の活動状況及び実施した事務事業のうち8事業について、点検・評価を実施いたしました。

その結果、教育委員会会議の開催状況、協議、報告等は適正に執行されているとの意見が出されました。点検評価対象の8事業については、「拡充」4事業、「実行どおり」4事業と評価されました。

「拡充」と評価された事業のうち、「学校支援地域本部事業」では、地域と学校の連携・協働は、青少年をめぐる様々な課題の解決にも資するものと考えられ、また、本市が掲げる郷育立市の実現にも寄与し効果が高いものと判断されるため拡充すべきとの意見が出されました。

また、「泉坂下遺跡保存事業」では、市民、県民のためにも拡充すべき事業であり、施設整備や息の長い調査研究体制を整える必要があるとの意見が出されました。その他の意見等については、市ホームページをご覧ください。

市教育委員会では、今後も毎年教育行政点検評価を実施し、教育委員会活動の透明性を高め、市民の方から信頼される教育行政を推進していきます。



▲泉坂下遺跡シンポジウム

2/10

お宝発見事業

「常陸大宮市のお宝発見事業」第5回を、24人の参加のもと実施しました。

今回は、山方地域にあるパークアルカディアで様々な体験をしました。

初めに、プラネタリウムで映画「山崎直子宇宙飛行士のスペース・アカデミー」を鑑賞し、宇宙への興味を深めました。

その後は、ピザ作りに挑戦。生地を伸ばしてトッピングをし、ドラム缶の窯で焼いて完成。参加者からは、「自

分で作ったピザは美味しかった」との声が聞かれました。

午後は、ウォークラリーを実施。班の仲間やボランティアの茨城大学生と協力し、クイズを解きながら会場内をまわることで、いろいろな遊具や施設があることが分かったようでした。

子ども達は、市内には様々な楽しい体験ができる場所があることを知って、また1つ本市の魅力を発見した様子でした。



▲ピザ作り楽しかったかな？

参加したボランティアの声



茨城大学1年子どもふれあい隊
立花 日菜

毎回、常陸大宮市の様々な場所に赴き、いろいろな体験ができるので、ボランティアとして参加している私自身もとても楽しみにしている活動です。

今回も楽しい活動に目を輝かせる子どもたちの姿がたくさん見られました。

小学生の頃から自分が住むまちの魅力に実際に触れることができる子どもたちを羨ましく思います。

2/18 ミュージックフェスティバル

市内の中学校と高等学校が参加して、第10回ミュージックフェスティバルが市文化センターで開催されました。

講師に水戸女子高等学校吹奏楽部指揮者の木村達也先生をお迎えし、第1部ではそれぞれの学校のサウンドを披露しました。第2部では中学1年生合同バンド、木村先生指揮で中学2年生合同バンドの演奏がありました。また、アトラクションとして県立大洗高校マーチングバンド部「BLUE-HAWKS」の華麗なマーチングバンドが発表されました。演奏が終わるたび、会場から大きな拍手が贈られていました。



▲素晴らしい演奏でした

2/20 議会報告会

市議会では、議員自らが地域に出向き、議会活動の状況を報告するとともに、貴重な意見を直接聞き、意見を交換する場として、議会報告会を開催しています。

この日は、市内2会場（大宮・御前山）で、同時刻に同じ内容で開催され、計71人の市民の皆さんが参加。

市民の皆さんからは、「議員はもっと地域に出向いて話を聞いて欲しい」などの要望があり、また、小学校の通学路の問題、駅周辺整備、イノシシの駆除対策や人口減少対策などについて、活発に意見交換されました。



▲大宮会場の様子

2/22 バルーンアート

総合保健福祉センターかがやきで、金澤恵美子さんを講師に迎えバルーンアート講座を行いました。

金澤講師は、県内でリトミックを中心としたレクリエーション等の活動をしています。

今回は、1歳から3歳まで8組の親子が参加しました。

ママが一生懸命作った風船の動物たちに子ども達は大はしゃぎ。親子で楽しいひと時が過ごせたようです。



▲製作の方法を熱心に聞くママたち

2/23 友好都市市民交流

へたれ侍プロジェクト実行委員会による、友好都市の秋田県大館市商工会議所の有志との交流会（第6回日本酒会）が開催されました。

市内初の試みとして、インターネットのスカイプ（テレビ電話）で両市の会場を繋ぎ、郷土品や両市特産料理の紹介と試食、経済の話や歴史の情報交換などが行われ、有意義なひとときとなりました。

常陸大宮市・大館市友好都市推進協議会では、両市資源を活かした産品開発を行っていて、今回の取組では、比内地鶏に関する取組を支援するため材料提供を行いました。

今後も様々な分野で広がる友好都市交流が期待されます。



▲スカイプで盛り上がる会場

3/2

美和小学校でワークショップ ～アーティスト発掘推進事業～

本市在住の画家寺門由紀さんを講師に招き、美和小学校でソフトパステル（通常のクレヨンより油分の少ないもの）を使った絵のワークショップが開催されました。

5年生と6年生32人が参加し、始めにパステルの使い方や描き方の基本を学び、それぞれの作品を制作しました。

児童達は、初めて扱うソフトパステルに最初は戸



▲いろんな作品が仕上がりました！

惑っていましたが、すぐに慣れ、それぞれの個性溢れる素晴らしい作品が出来あがりました。

その後、全体作品として、しずく型に切った画用紙に好きな模様を描いてボードに貼り付けて大きな羽をつくり、それをバックにしてひとりずつ記念撮影をしました。

6年生にとっては、小学校最後の良い思い出になったようです。



▲大きな羽の前に立つ講師の寺門由紀さん

スキーやスノーボードは子どもの自律性の発達に適した自然体験

寄稿がありました

1月5日スキー・スノーボード教室（主催：山方体協）が開催され、大人を含む62人が参加しました。

スキー場では天候にも恵まれ、山方スキークラブの公認指導員から指導を受け、初心者でもリフトに乗って滑れるまでに上達しました。

スキーやスノーボードは、常に自分の意志によって次の行動を決める必要があり、試行錯誤も連続します。自分で考え、工夫して乗り越えようとする自己決定と課題をクリアした時の達成感。これらは子どもの自律性の発達に高い影響力を及ぼします。



▲みんなで記念撮影

また、スキーやスノーボード体験をとおして、自分の成長を実感しやすいため、積極になる傾向もあり、意欲を持って物事に取り組む姿勢を身に付けることもできます。

子ども達は、貴重な自然体験の中から自律性を発達させ、また、友達や親子で同じ体験をすることでお互いのつながりを感じ、豊かな関係を築くことが出来たのではないのでしょうか。

（文：三次弘史）



▲楽しく滑れたかな？

第13回 常陸大宮駅伝大会

2月4日、第13回常陸大宮駅伝大会が開催されました。大会は3つの部門に分かれ、午前9時45分に小学校低学年の部からスタート。小学生は大宮運動公園周回コース、中学生・女子・一般の部は大宮地域内の全長20.2kmを7区間に分けて走りました。選手たちはたくさんの声援を受け、健脚を競い合いました。



▲中学生・女子・一般の部



▲選手宣誓



▲小学生低学年の部スタート！



▲白バイの先導。沿道からたくさんの声援を受けました

【大会結果】

部門		1位	2位	3位	4位	5位	6位
小学低学年	男子	常陸大宮リトルB	山方小学校	近藤クラブA	キッカーズIV	チームWEST	横堀小男子B
	女子	横堀小女子C	常陸大宮陸上D	幸久小	リトル5	常陸大宮陸上E	ー
小学高学年	男子	山方南小6年	旭東小学校A	園部小	常陸大宮リトルA	近藤クラブA	幸久小
	女子	山方南小5・6年	横堀小女子A	美和ファイターズ	近藤クラブ	旭東小学校	久米ガールズ
中学男子	I	水府中学校	峰山中学校	中郷中駅伝部A	金砂郷中学校	大宮二中選抜男子	太田中A
	II	明峰中野球部A	明峰中サッカー部	御前山中野球部	大宮二中野球部	山方中混合C	大宮二中剣道部
女子	I	中郷中女子A	峰山中学校	中郷中女子B	金砂郷中学校	大宮二中選抜女子	太田中A
	II	山方中混合	山方中テニス部A	御前山中合同A	御前山中合同B	大宮二中テニス部	明峰中排球部
一般	I	常陸大宮消防A	世喜体協A	村石体協	常陸大宮消防B	カバヤ食品	大場体協A
	II	我流AC-B	佐竹高等学校	我流AC-A	下小川走友会	Rev.佐竹	四倉一家B

【小学生の部 低学年 区間賞】（全長 4.2km）（敬称略）

部門 区間等	男子	女子
1 区 (1km)	川又 大知 (チーム WEST)	海老澤 詢子 (横堀小女子 C)
タイム	3 '38	3 '57
2 区 (0.8km)	後藤 陽心 (常陸大宮リトル B)	鈴木 凜 (常陸大宮陸上 D)
タイム	※ 2 '49	3 '10
3 区 (0.8km)	木村 祐介 (山方小学校)	會澤 心菜 (常陸大宮陸上 D)
タイム	※ 2 '48	3 '11
4 区 (0.8km)	黒羽 柚妃 (近藤クラブ B)	高柿 咲妃 (常陸大宮陸上 D)
タイム	3 '01	3 '28
5 区 (0.8km)	海老根 嘉斗 (南風ドリーム 5)	大森 彩乃 (横堀小女子 C)
タイム	※ 2 '49	3 '17

※区間新記録

【小学生の部 高学年 区間賞】（全長 7.2km）（敬称略）

部門 区間等	男子	女子
1 区 (1.6km)	小柴 裕士郎 (園部小)	小室 希葉 (美和ファイターズ)
タイム	5 '37	6 '23
2 区 (1.4km)	野上 晴杜 (山方南小 6 年)	坪井 愛恵里 (山方南小 5・6 年)
タイム	※ 4 '55	5 '38
3 区 (1.4km)	横山 哲大 (山方南小 6 年)	高村 稜花 (山方南小 5・6 年)
タイム	5 '14	5 '40
4 区 (1.4km)	山田 蓮 (旭東小学校 A)	吉川 桃華 (美和ファイターズ)
タイム	5 '17	6 '12
5 区 (1.4km)	石井 昂太郎 (旭東小学校 A)	沢幡 桃圭 (横堀小女子 A)
タイム	5 '01	5 '58

※区間新記録

【中学生男子・女子・一般の部区間賞】（全長 20.2km）

（敬称略）

部門 区間等	中学男子 I	中学男子 II	女子 I	女子 II	一般 I	一般 II
1 区 (4.1km)	樫村 将矢 (中郷中駅伝部 A)	大瀧 圭佑 (明峰中野球部 A)	井坂 佳鈴 (金砂郷中学校)	小森 あすか (山方中混合)	広木 克紀 (世喜体協 A)	猿田 篤 (我流 AC-A)
タイム	13 '32	14 '47	15 '30	※ 17 '29	15 '07	13 '00
2 区 (1.8km)	和田 尚也 (水府中学校)	伊坂 優良 (明峰中野球部 A)	大熊 美生 (中郷中女子 A)	益子 馨 (山方中混合)	梶 徳 (常陸大宮消防 A)	大津 洸輝 (佐竹高等学校)
タイム	6 '15	※ 6 '40	※ 7 '00	※ 7 '41	6 '28	5 '40
3 区 (3.2km)	長柄 陽大 (中郷中駅伝部 A)	青木 隆晟 (明峰中サッカー部)	山形 莉央 (中郷中女子 A)	引田 愛美 (大宮二中合同女子)	沼田 淳一 (世喜体協 A)	根岸 航佑 (我流 AC-A)
タイム	※ 10 '14	11 '46	※ 11 '56	14 '39	※ 10 '19	10 '18
4 区 (3.4km)	鈴木 彪雅 (水府中学校)	橋本 頼 (明峰中サッカー部)	安藤 優花 (中郷中女子 A)	菊池 心優 (山方中混合)	今野 雄斗 (常陸大宮消防 A)	高島 蒼生 (我流 AC-B)
タイム	11 '00	11 '57	※ 12 '10	13 '56	11 '23	10 '16
5 区 (3.2km)	鈴木 志竜 (水府中学校)	河野 竜真 (明峰中野球部 A)	長瀬 日向 (中郷中女子 A)	川野辺 あかり (山方中テニス部 A)	皆川 善孝 (常陸大宮消防 A)	吉田 祐樹 (我流 AC-B)
タイム	11 '09	12 '12	12 '39	14 '17	11 '25	10 '09
6 区 (1.7km)	川上 晃生 (水府中学校)	大竹 陸斗 (明峰中野球部 A)	田中 胡々菜 (中郷中女子 A)	渡辺 花恋 (山方中混合)	岡崎 光平 (常陸大宮消防 A)	本橋 大河 (佐竹高等学校)
タイム	5 '59	6 '44	7 '10	7 '31	6 '09	5 '56
7 区 (2.8km)	岡部 駿斗 (峰山中学校)	掛札 健太 (明峰中野球部 A)	小川 莉穂 (中郷中女子 A)	青山 和瑚 (御前山中合同 B)	平根 圭将 (常陸大宮消防 A)	星野 圭裕 (佐竹高等学校)
タイム	9 '48	10 '55	10 '57	12 '53	※ 9 '47	9 '38

※区間新記録

若者から高齢者まで一緒にプレーできるニュースポーツ

ヘルスパレーボールにTRY!

新しいスポーツ「ヘルスパレーボール」について、私たちスポーツ推進委員が研修を受けた感想や独特なルールなどを紹介します。

ヘルスパレーボールはこんな競技（三次恵美子委員・野上）

常陸大宮市スポーツ推進委員会で普及を図っているヘルスパレーボールについて、一般的なバレーボールとの相違点を表にまとめて説明します。

バレーボール	項 目	ヘルスパレーボール
直径約 20cm の球体。皮革製で硬い。	試合球	ストレッチ体操用のために開発されたボール。ラグビーボールが大きくなった形状で、柔らかい。
18 m × 9 m をセンターで 2 分割	コート	13.4 m × 6.1 m をセンターで 2 分割（バドミントンのコートを使用する場合がほとんど）
男子 2.43 m、女子 2.24 m	ネットの高さ	2.00 m
6 人制と 9 人制	人 数	4 ～ 6 人（相手チームと同数でなくても構わない）
空中に放り投げて打つ	サーブ	投げ入れる！！
3 回以内	返 球	1 回での返球は反則。2 ～ 5 回で返球し、ブロックポイントはありません。

最大の特徴は、ボールの形状です。ラグビーボールが柔らかく大きくなったようなボールなので、空中で動きが変化しハプニングが起こりやすく、みんなでわいわいと楽しめる競技です。

なぜヘルスパレーボールなのか？（平山美智子委員・高部）

茨城県のデータによると、1 年間にまったくスポーツを行わなかった人が、約 3 人に 1 人の割合でいるそうです。スポーツを行うことは健康に良いので、より多くの方に楽しんでもらえる種目を探していたところ、老若男女問わず楽しめるヘルスパレーボールを知りました。



交流大会に出場して（蓮田美津子委員・下伊勢畑）

昨年 12 月にひたちなか市で開催された「第 3 回冬季ヘルスパレーボール大会」に出場してきました。声を出しながら、オレンジ色の大きなボールをつなぎました。ボールのスピードが遅いため、簡単かと思いきや、時々予測のつかない動きをするため、それに対応する面白さがあり、まさに老若男女が一緒になって楽しめることを体感しました。



審判・指導者講習会を受講して（中村美佐江委員・下村田）

1 月 21 日（日）、常陸大宮市スポーツ推進委員 18 名が、日本ヘルスパレーボール連盟主催の審判・指導者講習会を受講しました。笛を吹くタイミングやジャッジの仕方、ルールの詳細について学びました。最後の筆記試験を終え、合格証をいただきながら、試合を楽しくスムーズに進行できる審判員になりたいと思いました。



今後の展開

常陸大宮市スポーツ推進委員会では、ヘルスパレーボールをやってみたい方やグループ、団体等に対して、用具の貸し出しや審判・指導者の派遣など協力体制を整えています。職場のレクリエーションや学校の課外活動、地区の健康推進事業など、様々な場面において協力し、普及を図っていきたいと考えています。

■問い合わせ■ 文化スポーツ課 文化・スポーツグループ

✦パラオ研修生のコーナー✦ 最終回

県立常陸大宮高等学校・聖愛保育園を訪問しました。

1/18・24
2/20



▲パラオの紹介をするジェニー

常陸大宮高等学校では、機械科3学年生徒による「課題研究発表会」が行われ、研修生はものづくりに関する成果発表を聴きました。発表では生徒の作品が紹介され、研修生は「生徒たちがあのような立派な作品を作れることがすごい。」などと話していました。また、研修生が再び学校を訪れ、1、2学年の生徒にパラオの歴史や文化、常陸大宮市との歴史的な関係を紹介しました。「パラオに行ってみたい人はいますか？」という研修生の質問には、全員が「行ってみたい」と手を挙げていました。



▲園児とダンスをするケネリー

聖愛保育園を訪問し、3歳以上の園児88人と交流をしました。「Laboratory Party (ラボパーティ)」では、英語の歌とダンスと一緒に体を動かしながらリズムカルに楽しく踊りました。研修生によるパラオの紹介後、園児から「歌」や「楽器演奏」の発表がありました。クラスに分かれての昼食は「塩ラーメン・ぎょうざ・りんご等」のメニューで、研修生もおいしさにびっくり。園児は覚えたてのパラオ語を使い、みんなで「アジダイジョブ(おいしい)！」と元気に声をあげていました。

最後に、保育士の先生から「鶴」「コマ」「手裏剣」の折り紙を習い、有意義な交流となりました。

3月で1年間の研修を終えた3人の感想を紹介します



▲“Bong ma uriul (ボン マウリウル)”「また会いましょう！」
左からアスティン、ジェニー、ケネリー

ジェニー

私には大好きな日本語があります。それは「一期一会」です。「人生は一度きり。それぞれの出会いを大切にしましょう。」という意味です。私は日本に来てたくさんの人に出会いました。私に日本の伝統文化を教えてくれた人、一緒に遊んでくれた子どもたち、私のことを家族のように思ってくれる人もできました。皆さんは私の人生に大きな影響を与えてくれ、それはいつまでも私の心の支えとなることでしょう。私は皆さんとの出会いを忘れません。

アスティン

私は日本で様々な体験をしました。習字、折り紙、空手、剣道、柔道、餅つきなどの文化を教えてもらいました。桜や雪は、日本に来て初めて見ました。本当に綺麗で、これが日本の景色なのかと感動しました。私は日本で見たもの、体験したこと、感じたこと、そのすべてをパラオの人たちに伝えたいと思います。そして、私は、日本とパラオがもっと仲良くなれるような大きな架け橋になりたいです。

ケネリー

もう1年が経ってしまったのかと、時の流れの速さに驚いています。日本に来た時、私は「こんにちは」しかわかりませんでした。でも今は皆さんと日本語で話をすることができます。それは様々なイベントに参加させてもらい、市民の皆さんとたくさん交流をして、日本語をたくさん教えてもらったからです。私はもっと勉強して、常陸大宮市に戻ってきて、様々なことを教えてくれた皆さんに恩返しをしたいと思います。

地域おこし協力隊

No.23

がゆく



諸沢・北富田地区活性化担当の志賀です。

1月27日(土)に田んぼ88プロジェクトの収穫祭として『お餅つき体験会』を北富田集会所で行いました。1年間のプロジェクトを振り返りながら、約20人の参加者と共につきたてのお餅や手打ちそばを食べて交流を深めました。

田んぼ88プロジェクトでは、昨年3月に行った田起こしに始まり、代掻き、田植え、畦の草刈り、稲刈り、脱穀などたくさんの方の工程を体験しました。その中でも私が一番感動したのが稲の花を見つけた瞬間です。稲の花はわずかな期間、しかも午前中にしか咲きません。生まれて初めて見た稲の花は

白くてかわいらしく、朝露と共に日の光に照らされてきらきらと輝いていて、とても神秘的でした。

お米づくりを通して工程の楽しさや難しさを実感できたことはもちろん、人との輪の広げ方なども学び、周囲の皆様の温かい見守りの下でかけがえのない経験をすることができました。

最後に私事ですが、今年度を持って地域おこし協力隊を退任することになりました。今後は小学校教師として、地域おこし協力隊活動で学んだことを活かし、そして未来を託す子供たちを育てていくために、奮闘したいと思います。

本当にありがとうございました。



いっしょにまちづくり

最終回



茨城大学 人文社会科学部 教授
西野由希子

平成20年10月号から始まった「いっしょにまちづくり」コーナー。今回が最終回になりました。東日本大震災直後の平成22年4月号を除き、一度も休まず、計113回の連載、116の方に登場いただきました。このコーナーを提案し、ずっと携わってきた者として、執筆者の皆さん、読者の皆さん、広報の担当の職員など、コーナーを支えて下さった多くの皆さんに感謝いたします。

常陸大宮市ではたくさんの方々が、それぞれの熱い思いを持って、地域活性化、まちづくりに取り組んでいらっしゃる、その方たちの声を、思いを、笑顔を、届け続けて来ました。「いっしょに」という輪が広がる一助になったでしょうか。

茨城大学の学生たちは市内の各地域に伺って、地域の皆さんと一緒に、一生懸命にまちづくり活動を行う中で学んだことを書いてくれました。本市の職員になった学生、県内外の自治体等の職員や、自分の選んだ道に進んだ学生たち、みんな、学生時代の経験を活かしてくれていると思います。

本コーナーは、市民や学生たちの文章と顔写真などがリレーのように毎回、掲載される点で、自治体の広報誌としては先進的な企画でした。素晴らしい活動をされていて執筆をお願いしたい方が市にはたくさんいらっしゃるのだから、コーナーを続けましょうと広報担当と話しながら、10年になりました。10年間、同じコーナー名で続けられたのは貴重なことですし、90回を越えた平成28年7月号で、見開き2ページを使って特集号を組み、振り返ることができたのも画期的でした。

市には、まだまだ登場していただきたい多くの方がいらっしゃいます。これからも、広報には、新しい試みを行ってそれらの方々を紹介し、活動の後押しをしていただけるようにと願います。

皆さん、ありがとうございました！ これからも「いっしょにまちづくり」を続けていきましょう！

【材料】4人分（成人）

かぼちゃ……………1/2 個 (300g)
 鶏もも肉…………… 200g
 油…………… 大さじ 2 (24g)
 A { お湯…………… 1 カップ (200cc)
 酒…………… 大さじ 2 (30cc)
 こしょう…………… 少々
 オイスターソース… 大さじ 1 (18cc)
 にんにく（すりおろし） ……1 片 (6g)

オイスターソースの風味で塩分控えめでもおいしい炒め物です。

【作り方】

- ①かぼちゃは、種とわたを取り、ひと口大に切る。
- ②鶏肉はひと口大にそぎ切りにする。
- ③鍋に油を熱し、鶏肉を入れ両面に焼き色を付ける。
 かぼちゃを加えて軽く炒め、A を加える。落としぶたをして時々混ぜながら、やわらかくなるまで煮る。



エネルギー	たん白質	脂 肪	塩分相当
239kcal	9.9g	13.2g	0.7g

ひたまる先生を紹介します vol.6



市内で割烹料理・鮮魚店を営んでいる、茅根和史です。創業は何年かわかりませんが、私で4代目になります。

ひたまる先生会では、主に魚の下ろし方やその魚を使った簡単な和食の作り方などを担当しています。

参加してくれた皆様が、興味津々で悪戦苦闘しながらも料理を作り上げ、自分たちで作った料理を美味しい美味しいと満面の笑みで食べている姿を見ていると、こういった取り組みに参加してよかったなと思います。これからも食という部門で、市民の皆様に元気と笑顔を届けていきたいと考えています。

■問い合わせ■ ☎ 52-0109



地域で、読み聞かせ・朗読・昔ばなしの語りや、子育て支援の活動をしている平島則子です。

常陸大宮に残る昔ばなしを再話し、土地の言葉で語っています。私たちの生活の中に息づく昔ながらの暮らしや言葉を「語る」という活動を通して、次の世代に伝えていきたいと考えています。子育て支援としては、「子育てサロン」や「子育てカフェ」を定期的に開催し、悩みを抱えながらも懸命に頑張っている保護者の皆さんを応援しています。

子どもの人権等についてもお話します。お気軽にお声掛けください！

■問い合わせ■ ☎ 53-0714

Vol.45

職員のつぶやき ~職員リレートーク~



東消防署の飛田渉です。私は最前線に出動した先輩方の救急支援や安全管理、そして救助現場や火災現場に出動します。様々な現場で助けを求めている人々の要

請に応えることに日々やりがいを感じています。

このほかに、火災予防広報や救命率向上のための救命講習など、火災の件数や救急の件数を減らす為の取り組みも行っています。地域の皆さんが安心かつ安全に暮らせるまちづくりため、これからも日々の訓練や勉強に励み、信頼のある消防士を目指していきたいと思っています。



東消防署の鹿島崇です。社会人になって高校とは全く違う環境になったと感じました。社会人としてこの環境に慣れるとともに市民の手本となれるような業務、

行動をとっていきたいです。

私が消防士になって感じたことは、事務処理が多いことです。学生するとき、消防士は事務処理等があまりないと思っていたのですが、勤務してみて事務処理の多さにびっくりしました。

これからも皆さんの役に立てるような仕事をしていきたいと思っています。

「高齢者てんかん」

健康

通信

常陸大宮済生会病院
診療部長 楠 浩

『てんかん』と言うと、一般に子どもの病気で、生まれつきの人が多いというイメージが強く、遺伝する病気と思いついて入っている人もいます。

しかし、年を重ねていくと発症する『てんかん』もあるのです。高齢者てんかんは、おもに65歳以上、早い方だと50歳を超えた頃より発症します。

成人ってから発症する『てんかん』のなかには、脳卒中、脳腫瘍や頭部の外傷が原因で起こるものもあります。これらを、『症候性てんかん』と言います。

高齢者てんかんは、『症候性てんかん』のこともあります。原因のはっきりしない、誰でもかかり得る加齢に伴う病気であることも多いようです。症状の特徴は、静かな発作です。「激しい痙攣」や「泡を吹いて卒倒する」といったことは見られません。

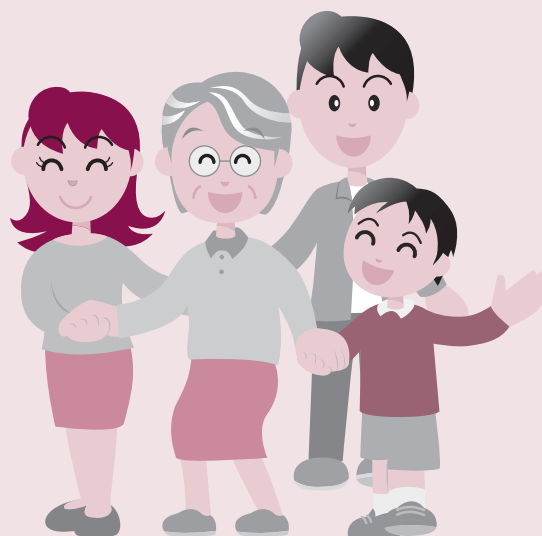
例えば、

1. 突然、動作が止まり、短時間一点を見つめてボーとする。その後回復過程で、意識がもうろうとする。（自動車運転中にこのような発作がおきてしまったら、大事故につながりかねません。）
2. 過去の旅行やイベントの特定の記憶が抜ける。
3. 無意識に、口をモグモグ・舌をペチャペチャならす。
4. 急に攻撃的になり、怒ったような言動を発する。

等々がみられます。

その時の様子から、認知症と間違われてしまうようなこともあります。自覚症状がないことも多く、ご家族や周囲の方も見過ごしてしまうことも少なくありません。

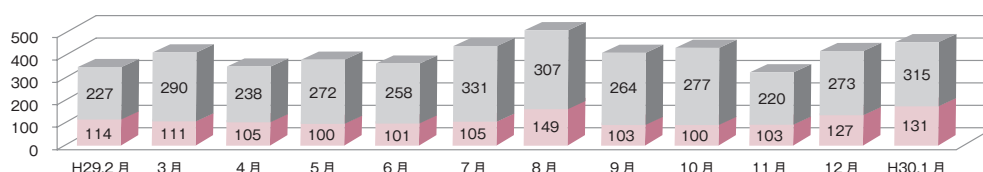
発作のない時には、頭部の画像検査、脳波等でも異常が見つからないことが多く、診断は容易ではありませんが、的確に診断され適切な服薬で発作はコントロールできる病気です。1.～4.のような症状に思い当たることがありましたら、外来受診（当院であれば脳神経外科）していただき、相談してください。



常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況

■ 救急車以外
■ 救急車

※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）





塩子観音 30 年ぶりの御開帳



塩子観音堂



多くの人々が参拝に訪れました



地域の方々の尽力により 30 年ぶりの御開帳となりました



昭和 30 年頃の観音堂（中央一段高いお堂）。左は塩田小学校

2 月 18 日、塩子観音堂でおよそ 30 年ぶりの御開帳がおこなわれ、多くの参拝客が訪れました。

◆塩子観音と大沢寺

塩子観音堂は、文書館の南の林の中に建つお堂です。旧塩田小学校があったこの場所には、戦国時代末期の文禄 3 年（1594）、常福寺 14 世の大管上人によって開基された浄土宗寺院、宝池山医徳院大沢寺がありました（開基帳）。大沢寺は瓜連常福寺の末寺でしたが、弘化年間（1844—1848）頃には寺勢が衰え部垂村の西方寺が兼務することとなり、明治 2 年（1869）に廃寺になったといわれています（塩子観音縁起）。本堂や客殿など境内に複数あった堂宇のうち観音堂だけが残し、今に続いています。

明治 4 年の「北塩子村社寺反別絵図」（坏将裕家文書）によれば、大沢寺はおよそ 50 メートル四方の広さで、墓地以外の建物の跡は当時すでに畑になっていたことがわかります。大沢寺が廃寺となったあとは、塩田村、北塩子区により管理されてきました。

塩子観音は、延命安産子育ての観音様として、毎年 2 月 18 日の縁日には昔から多くの人がお参りに訪れました。戦前は露天商が参道に並び、多くの人出があったそうです。

現在も地域の人々により毎年のお祭りが行われていますが、今年はお堂の再建以来、およそ 30 年ぶりの御開帳となり、久しぶりに多くの参拝客でにぎわいました。

◆再建へ

現在のお堂よりも一回り大きかったという以前のお堂は茅葺き屋根で、自然石の礎石を使った、昔ながらの建物だったそうです。そこは信仰の空間であると同時に、大沢寺時代からの墓地を有する場所でもあったため、土葬の際の棺を運ぶのに使用した輿（棺を載せて人がかつぐ道具）など葬送道具の収納場所の役割も果たし、地域共用の倉庫としても機能していました。

その後、茅葺き屋根の劣化が進んだため、昭和 61 年 12 月に現在のお堂に建て替えられました。

大沢寺時代の本尊は阿弥陀如来と考えられますが、現在は失われています。また、大沢寺の廃寺後、観音堂になってからの本尊と思われる観音立像も、昭和 61 年の移転の前後に失われたようです（「塩子観音縁起」では聖観音としています）。今は江戸時代の寺院統制や明治の廃仏毀釈の際に廃寺となった近在の寺社から集められたと思われる小さな仏像が引き継がれ、大切に祀られています。

【参考文献】 坏夏男「塩子観音縁起」昭和 61 年

写真右下は『常陸大宮市立塩田小学校閉校記念誌』より転載

※次号からは町村合併の経緯の続編を掲載します。

■問い合わせ■

常陸大宮市文書館 ☎ 52-0571



『常陸大宮市史研究』を刊行しました

常陸大宮市史編さん事務局

平成30年3月20日、常陸大宮市史編さん事業で初めての刊行物となる『常陸大宮市史研究第1号』が刊行されました。市史研究は、年度ごとの事業成果を中間報告としてお知らせするもので、年1冊の刊行を予定しています。

調査の過程で明らかとなった歴史や文化、自然環境について報告することはもちろん、本市にゆかりのある人物や資料紹介なども織り交ぜて、本市が辿ってきた足跡を新たな視点で明らかにしていきます。

〈主な掲載内容〉

「座談会—市史編さんと「郷育立市」—」

常陸大宮市史編さん委員会

「藤田稔写真資料仮目録

—旧大宮町出身の民俗学者・藤田稔の民俗研究（一）—

林 圭史（民俗部会）

「香川敬三と明治の水戸藩士—武田金次郎らの末期—」

石井 裕（近現代史部会）

「常陸大宮市でヒメボタルを確認」

佐々木 泰弘（自然部会）

「文献に見られる常陸大宮市の植物（1）」

藤田 弘道・中崎 保洋（自然部会）

「渡邊明氏採集の常陸大宮市内考古資料（予報）」

萩野谷 悟（考古部会）



▲現地調査の様子（小舟地区）

常陸大宮市史研究 第1号

ごあいさつ 創刊にあたって	常陸大宮市教育委員会 教育長 上久保 洋一 常陸大宮市史編さん委員会 委員長 高橋 修	1 3
<巻頭企画> 座談会 —市史編さんと「郷育立市」—	常陸大宮市史編さん委員会	5
<研究ノート> 藤田稔写真資料仮目録 —旧大宮町出身の民俗学者・藤田稔の民俗研究（一）—	林 圭史	27
<資料紹介> 香川敬三と明治の水戸藩士 —武田金次郎らの知られざる末期—	石井 裕	41
<研究ノート> 常陸大宮市でヒメボタルを確認	佐々木 泰弘	52(26)
<資料紹介> 文献に見られる常陸大宮市の植物（1） 渡邊明氏採集の常陸大宮市内考古資料（予報）	藤田 弘道・中崎 保洋 萩野谷 悟	66(11) 76(1)
常陸大宮市史編さん事業 活動記録 「常陸大宮市史編さんだより」まとめ 刊行物紹介		77 94 110

2018.3
常陸大宮市教育委員会

▲常陸大宮市史研究第1号 表紙

平成29年度事業を振り返って

市史編さん事業が本格始動してからおよそ1年半が経過しました。現地調査の実施によって、調査員が皆さんと接する機会も増えています。今後も様々な機会を捉えつつ、市史編さんに関わる身近な地域の情報をお知らせして参ります。

市内には、今なお人知れず眠っている資料や、私たちの知らない歴史が数多く存在するはずです。改めて調査へのご協力をお願いします。

■問い合わせ■

文化スポーツ課

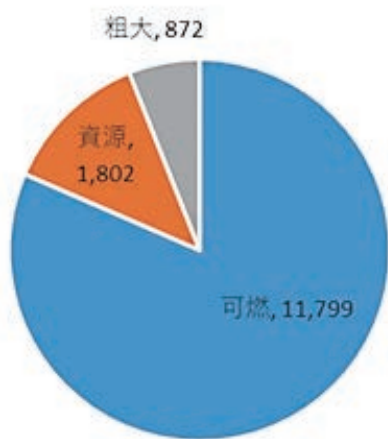
文化・スポーツグループ ☎ 52-1111（内線344）

環境インフォメーション

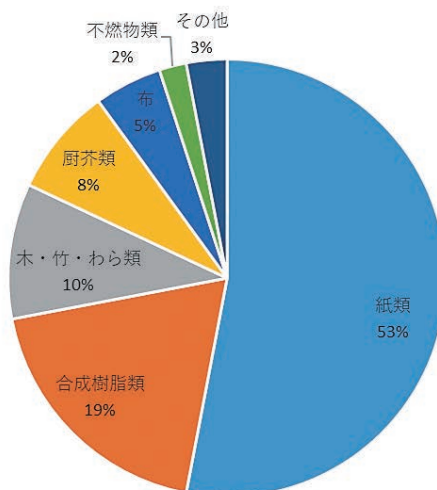
可燃ごみ減量にご協力をお願いします

皆さんは、市全体でどれだけのごみが出されるかご存知ですか？平成28年度のごみについて紹介します。

平成 28 年度ごみ排出量（単位：トン）



平成 28 年度可燃ごみ組成（単位：％）



ごみの総量（約 14,473 トン）のうち可燃ごみが約 82% を占めています。

組成を見てみると、紙類が一番多く全体の約 53% を占めています。

参考：平成 28 年度 1 人当たりのごみの年間排出量⇒約 336kg

※皆さんの家庭から出される可燃ごみに含まれる紙の多くは、“雑がみ”と言われる紙です。これらは、紙類の日に出すことでリサイクルができます。

雑がみとは？



菓子箱等



包装紙



衣類などについていたタグ



トイレトペーパー等の芯

※はがき、料金明細など個人情報を含むものについては可燃ごみとして出しても構いません。

雑がみの正しい出し方



○雑がみを分別し、紙袋に入れるか雑誌類にはさみます。



○雑がみが出ないようにヒモでしばります。



○紙の収集日に集積所へ出します。

このように、紙類は、ちょっとしたひと手間でも可燃ごみとして出す量を減らすことができます。皆さんのご協力をお願いします。

■問い合わせ■ 生活環境課 ☎ 52-1111(内線 123) 山方支所 ☎ 57-2121 美和支所 ☎ 58-2111 緒川支所 ☎ 56-2111 御前山支所 ☎ 55-2111



中崎消防士長 第41回全国消防職員意見発表茨城県大会に出場



▲発表する中崎消防士長

試験的に導入し、有料化によって支払われた費用で、AEDを施設などに寄付したり、救急業務の維持管理に充てることで救急活動のインフラを整備しつつ、救命率の向上につながるについて聴衆を前に意見を発表しました。

最優秀賞を受賞した消防職員は、関東大会に出場し、勝ち進むと全国大会に出場することができます。

2月8日、小美玉市四季文化館「みのーれ」で、第41回意見発表茨城県大会が開催されました。この大会は、県内24の消防本部から選ばれた消防職員が日頃の業務に対する問題などから、これからの消防業務のあるべき姿や職務においての提案、取り組みを発表する場として毎年開かれています。

当本部からは中崎雅消防士長が代表として壇上にあがりました。

救急利用に対する課題をあげ、本当に救急車が必要な方々に使用していただき、より質の高い救急活動を行うために救急の有料化を全国初として

渋川広域消防消火戦術勉強会を開催

当本部職員有志によって組織された自主勉強会が主催となり、渋川広域消防消火戦術勉強会を開催しました。

平成28年12月22日に起こった糸魚川の大規模火災では約140棟の建物に燃え広がり、“延焼”の恐ろしさを痛感する機会になりました。その“延焼”を阻止するために独自で研究し対策に取り組み、その成果が全国的に注目されている渋川市広域消防本部（群馬県渋川市ほか2町村を管轄）から青山消防長、岩崎講師、高野辺講師を招き、2日間にかけて独自の「渋消式消火戦術」を学びました。

1日目

渋消式の背景や実際に使われている資機材などについて講義が行われました。



右から青山消防長、高野辺講師、岩崎講師



約4時間におよぶ貴重な講義



実際に使用している資機材の展示

2日目

屋外にて浚消式吸管延長およびホース延長を実施しました。



吸管の取り方から学びました



無駄なく迅速に延長します



独自に開発されたホースバッグでの延長

火の取扱いに注意 ～実際に起こった火災の事例～

先月、県内で線香を着けようとした火が山に燃え移った事例がありました。

墓参りに来ていた女性が、線香に火を着けるため新聞紙に点火し、その火を消すための水を汲みに行っている間に山林に燃え広がり、火災になってしまいました。

この火事で、墓地北側の山林約2.3アールが焼失しました。

昨年には同様の事案が、栃木県でも発生しています。

また、線香自体の微小火源による火災も少なくありません。

40時間前につけた線香が仏壇から落ち、火の出ない状態のまま長時間かけて畳を焼け抜き、床下の梁や柱まで延焼した事例もあります。

多くの火災は、ちょっとした気の緩みなど、火災に対する警戒心が十分でない時に発生します。

特に線香などの微小火源は、見た目の小ささから“大丈夫だろう”と油断をしまいがちです。

専用のライターや容器などで、燃えやすいものがない場所で消火の準備をしてから専用のライターや容器などを使用してください。

特に乾燥している冬の期間、完全な火の始末を心がけ、安心安全な毎日をお過ごしください。

119番



■問い合わせ■

消防本部 ☎ 54-0119

ひたまるがゆく

2月18日に水戸市の偕楽園で開催された「第122回水戸の梅まつり」で常陸大宮市の観光PRを行ったひたまる。この日は、水戸市のマスコットキャラクターみとちゃんのお誕生会が行われ、県内外から21体ものゆるキャラが参加しました。ひたまるは、みとちゃんへお祝いに常陸大宮特産品のゆずサイダーなどのジュース3本セットをプレゼント！

午後は、綱引き・借り物競争・リレーの三種目別でゆるキャラ国体が行われました。ひたまるはリレーの種目に参加し、お客さんの歓声を受けながら頑張って走りきりました。



▲一緒にお祝いしました！

スポーツクラブひたまる25情報局 Vol.42

スポーツクラブひたまる25では、平成30年4月より、これまで開催していた「月1ノルディックウォーキング教室」を拡大し、月2回、市内各所で開催することになりました。

参加料無料で、ボールの無料貸し出しもします。協会公認指導士がボールの握り方から丁寧に指導しますので、未経験の方も気軽にご参加ください。

初回は、4月7日（土）午前9時に西部総合公園体育館玄関前集合です。年間予定等詳細は、お知らせ版の3月12日号に掲載しています。



■問い合わせ■

スポーツクラブひたまる 25 事務局 ☎ 55-9666
文化スポーツ課 文化・スポーツグループ
☎ 52-1111 (内線 342)

御前山ビオトープ周辺の植物等

北海道や本州に分布し、山間の湿地や沢沿いなどに群生する多年草で、高さは5～20cmです。葉は対生し長さは5～20mmです。花は直径1.5～2mmほどで、4～5月頃に茎の先にたくさん集まって咲きます。淡い黄色の花には直立したがく片が4個あり、花びらはありません。名前は果実が裂開して中の種子が見える様子が猫の細めた目に似ていることによるそうです。

ネコノメソウ



(ユキノシタ科ネコノメソウ属)

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

常陸大宮市の人口

(3月1日現在・推定常住者)

総人口 41,156 人

(男 20,304 人 女 20,852 人)

世帯数 16,072 世帯



QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 3月 第162号

発行日 平成30年3月26日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295 (52) 1111 FAX 0295 (53) 6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

